

第86期 報告書

2020年4月1日から2021年3月31日まで



SHINKO

新光電気工業株式会社

証券コード6967



株主の皆様には、平素よりひとかたならぬご支援を賜り厚く御礼申し上げます。第86期報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

代表取締役社長

倉嶋 進



新型コロナウイルス感染症に罹患された方々に心よりお見舞い申し上げます。また、感染拡大防止に向けご尽力されている皆様に深く感謝申し上げます。

第5世代移動通信システム（5G）の実用化等を背景とするビッグデータ、AIなどの活用の広がりが、経済や社会の仕組みに変化をもたらし、これまでとは次元の異なるイノベーションを生み出す可能性を秘めており、半導体はそのキーテクノロジーとして革新を続けていくことが期待されています。また、自動運転等の技術開発が加速する自動車や急速な拡大が想定されるIoT関連市場、さらに、人々の健康を支える医療分野など、半導体は、今後も市場を拡大することが見込まれています。

当社グループは、半導体デバイスの優れた機能を人々の生活のなかへともたらずインターコネク

トテクノロジーをベースに、高い競争力を持つ製品の開発に努め、お客様にとって価値の高い製品・サービスをご提供することにより、お客様の成功を支え、自らの発展・成長を目指してまいります。また、キャッシュ・フローを重視し、常に利益を創出できる強固な経営基盤の確立に努めてまいります。

さらに、当社グループの企業理念・指針である「SHINKO Way」の実践を通じ、ステークホルダーの方々との調和をはかるとともに、環境保全を経営の最重要事項の一つと位置づけ、地球環境と企業活動の調和を基本理念とし、豊かな社会づくりに貢献するべく、事業を展開してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2021年6月

■ 2020年度の事業概況

当期の半導体業界は、期前半において新型コロナウイルス感染拡大による影響を受けたものの、テレワーク、オンライン学習の拡大や5Gの実用化などを背景に、サーバー向けの需要が増加し、パソコン向けも好調に推移するなど、半導体需要の拡大傾向が鮮明となりました。

このような環境の下、当社グループでは、新型コロナウイルスの感染防止対策を継続的に実施し、事業活動の継続に努めてまいりました。また、今後一層の発展を目指すべく成長分野向けに重点的に経営資源を投下するとともに、生産性・品質向上等の取り組みを強化いたしました。高性能半導体の需要拡大に対応すべく、大型設備投資を展開しております主力のフリップチップタイプパッケージにつきましては、当期において新ラインが量産を開始するなど、引き続き生産体制増強に注力しました。これらの結果、フリップチップタイプパッケージは受注が大幅に増加するとともに、新ラインによる生産能力拡充が寄与しました。半導体製造装置用セラミック静電チャックは需要が大幅に拡大し、プラスチックBGA基板は先端メモリ向けに売上が増加しました。これらにより、当期の連結売上高は1,880億59百万円（対前期比26.8%増）と大きく増加しました。収益面については、高付加価値製品等の増加や収益性向上などにより、経常利益は265億7百万円（対前期比450.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は180億18百万円（同569.7%増）となり、売上・収益とも大幅な増収増益となりました。

単独決算につきましては、売上高1,804億12百万円（対前期比26.3%増）、経常利益261億15百万円（同370.7%増）、当期純利益179億5百万円（同408.8%増）を計上いたしました。なお、当期の配当につきましては、普通配当15円に特別配当2円50銭を加えて期末配当金を17円50銭とし、中間配当金の12円50銭とあわせて年間30円とさせていただきます。

■ 今後の見通し

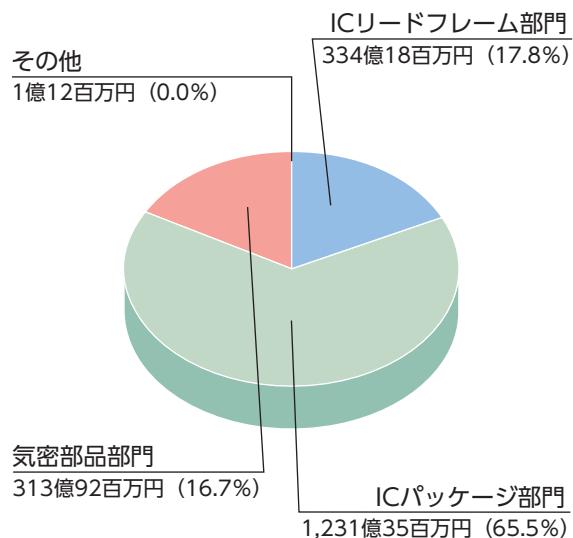
今後の半導体業界は、5Gの実用化やIoT・AIの活用の進展ならびにEV（電気自動車）、自動運転等の技術開発が加速する自動車向けなど、半導体需要は中長期的に大きく増加することが見込まれます。また、テレワークやオンライン学習をはじめとする社会のデジタル化が今後さらに加速・進展することにより、幅広い分野において半導体は用途を広げ、市場はさらに拡大するものと想定される一方、一層の高機能化・高速化のニーズとともに、省電力化への対応がさらに求められるなど、高度化する市場ニーズに、迅速かつ柔軟に対応し得る開発・生産体制を構築することを要するなど、世界規模での競争が一段と激化することが見込まれます。

このような環境の下、当社グループは、引き続き高い成長が見込まれる市場向けに重点的に経営資源を投下し、今後の発展を目指してまいります。サーバー、パソコン等に搭載される高性能半導体向けに、一層の需要拡大が見込まれるフリップチップタイプパッケージについては、高丘工場（長野県中野市）等における大型設備投資について旺盛な需要に対応すべく着実に生産能力の増強をはかってまいります。また、半導体需要の増大を背景に中長期的な受注拡大が想定される半導体製造装置向けのセラミック静電チャックの生産能力拡充ならびに半導体メモリーの高速化・大容量化に対応するプラスチックBGA基板の一層の拡販に努めるなど、今後の市場拡大を的確に捉え、半導体の高性能化に寄与する当社製品のさらなる販売拡大を目指してまいります。

当社グループは、引き続き成長が見込まれる半導体市場にあって、常にお客様のニーズを起点とし、機能・性能、コスト、品質すべてにおいてお客様にとって価値の高い製品・サービスを提供することにより、「限りなき発展」を果たしてまいりたい所存であります。

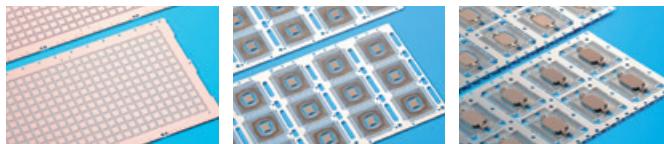
部門別の状況

部門別売上高構成



※ () 内の数字は構成比率を表わしております。

ICリードフレーム部門



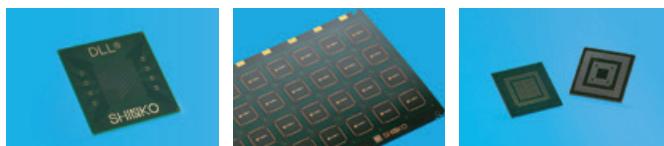
QFNタイプ
リードフレーム

プレスリードフレーム

かしめリードフレーム

搭載製品例 スマートフォン、自動車、パソコン、家電、産業機器他

ICパッケージ部門



フリップチップタイプ
パッケージ

プラスチック
BGA基板

IC組立

搭載製品例 パソコン、サーバー、スマートフォン、民生機器他

気密部品部門



セラミック
静電チャック

光学機器用ガラス端子

光通信用ガラス端子

搭載製品例 半導体製造装置、自動車、民生機器、通信機器他

売上高 **334億18百万円** (前期比 **↑7.3%**)

期前半において、新型コロナウイルス感染拡大による自動車需要減退等の影響を受けたものの、エッチングリードフレームは、増産対応をはかってきたQFNタイプが幅広い用途向けに堅調に推移するとともに、期後半には自動車向け需要が回復したことなどにより増収となりました。また、プレスリードフレームは、自動車向けの売上が第3四半期に入って底打ちし、その後さらに大きく回復しました。この結果、当部門の売上高は334億18百万円(対前期比7.3%増)となりました。

部門別売上高 (百万円)



売上高 **1,231億35百万円** (前期比 **↑33.3%**)

フリップチップタイプパッケージは、パソコン向け、サーバー向けに需要が大幅に拡大し、高丘工場における新ラインの量産稼働が売上増加に寄与するとともに、プラスチックBGA基板は、新ラインの稼働開始などにより、先端メモリー向けに受注が大きく増加しました。IC組立は、ハイエンドスマートフォン向けの需要が拡大し増収となった一方、CPU向けヒートスプレッダーは、サーバー向けが堅調なまま推移したものの、パソコン向けの需要が減少し、減収となりました。この結果、当部門の売上高は1,231億35百万円(対前期比33.3%増)となりました。

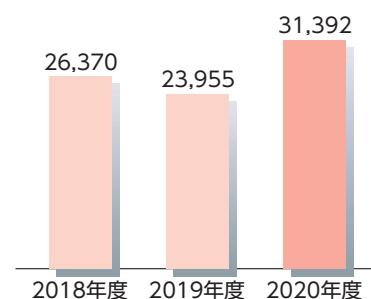
部門別売上高 (百万円)



売上高 **313億92百万円** (前期比 **↑31.0%**)

セラミック静電チャックは、半導体製造装置市場における旺盛な需要を背景に売上が大幅に拡大しました。一方、ガラス端子は期後半にかけて受注が回復傾向を示したものの、期前半において光学機器向けが低調に推移したことなどにより、減収となりました。この結果、当部門の売上高は313億92百万円(対前期比31.0%増)となりました。

部門別売上高 (百万円)



業績の推移

〔連結〕

■ 売上高



■ 経常利益／親会社株主に帰属する当期純利益



■ 総資産／純資産



■ 設備投資

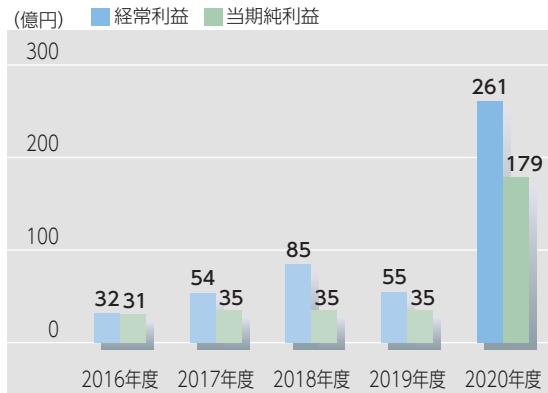


〔単独〕

■ 売上高



■ 経常利益/当期純利益



■ 営業成績および財産の状況の推移

区分	年度	2016年度 〔第82期〕	2017年度 〔第83期〕	2018年度 〔第84期〕	2019年度 〔第85期〕	2020年度 〔第86期 (当期)〕
〔連結〕	売上高 (百万円)	139,890	147,113	142,277	148,332	188,059
	経常利益 (百万円)	3,468	5,730	7,649	4,813	26,507
	親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	3,007	3,664	2,526	2,690	18,018
	1株当たり当期純利益	22円26銭	27円13銭	18円70銭	19円92銭	133円38銭
	総資産 (百万円)	180,339	183,759	180,793	203,979	240,977
	純資産 (百万円)	133,435	134,606	139,200	137,658	153,393
	1株当たり純資産	987円75銭	996円42銭	1,030円43銭	1,019円1銭	1,135円49銭
	設備投資 (百万円)	20,973	16,813	13,937	15,031	30,133
	研究開発費 (百万円)	3,499	3,440	3,221	2,849	2,981

〔単独〕

売上高 (百万円)	132,504	139,464	136,003	142,823	180,412
経常利益 (百万円)	3,247	5,466	8,584	5,547	26,115
当期純利益 (百万円)	3,173	3,502	3,572	3,519	17,905

■ 連結貸借対照表

2021年3月31日現在

科目	(単位：百万円)		科目	(単位：百万円)	
	当期	前期		当期	前期
資産の部	240,977	203,979	負債の部	87,584	66,320
流動資産	124,534	104,656	流動負債	84,471	61,774
固定資産	116,443	99,322	固定負債	3,112	4,546
有形固定資産	110,551	93,365	純資産の部	153,393	137,658
無形固定資産	1,130	1,167	株主資本	157,213	142,572
投資その他の資産	4,761	4,789	資本金	24,223	24,223
資産合計	240,977	203,979	資本剰余金	24,129	24,129
			利益剰余金	108,953	94,312
			自己株式	△ 92	△ 92
			その他の包括利益累計額	△ 3,820	△ 4,914
			負債純資産合計	240,977	203,979

■ 連結損益計算書

2020年4月1日～2021年3月31日

科目	(単位：百万円)	
	当期	前期
売上高	188,059	148,332
売上原価	152,059	132,771
売上総利益	36,000	15,561
販売費及び一般管理費	12,671	12,333
営業利益	23,328	3,227
営業外収益	3,251	1,639
営業外費用	72	54
経常利益	26,507	4,813
特別損失	875	873
税金等調整前当期純利益	25,631	3,940
法人税、住民税及び事業税	7,570	731
法人税等調整額	42	517
親会社株主に帰属する当期純利益	18,018	2,690

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

2020年4月1日～2021年3月31日

科目	(単位：百万円)	
	当期	前期
営業活動によるキャッシュ・フロー	33,801	12,696
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 32,148	△ 35,591
財務活動によるキャッシュ・フロー	538	16,939
現金及び現金同等物に係る換算差額	271	△ 314
現金及び現金同等物の増減額	2,462	△ 6,269
現金及び現金同等物の期首残高	40,046	46,315
現金及び現金同等物の期末残高	42,508	40,046

成長分野への重点的な投資

今後、社会・経済のデジタル化がさらに進み、それらを背景に半導体産業は需要を拡大し、中長期的な成長が見込まれています。当社では、高性能半導体向けの需要拡大を見込み、2018年度よりフリップチップタイプパッケージの大型設備投資を展開しており、2020年10月に最新鋭の生産ラインが高丘工場（長野県中野市）で量産を開始しました。このほか、半導体の需要増大を背景とする半導体製造装置市場の拡大により、需要が増加しているセラミック静電チャックや、ハイエンドスマートフォン等に搭載される先端メモリ向けのプラスチックBGA基板など、当社におきましては、高い成長が見込まれる市場向けに重点的に経営資源を投下してまいりました。これら設備投資による生産体制増強により、2020年度は好調な受注環境のもと、大きく業績を伸長させることができました。

今後も、市場動向をとらえ、成長市場向けに重点的な投資を展開することにより、さらなる発展を目指してまいります。



高丘工場

「新光テクノアカデミー」を開校

本年2月、当社は、社内教育機関として「新光テクノアカデミー」を開校しました。

当社では、一層の高度化が進む半導体市場のニーズに対応するため、社員の教育体系の充実をはかり、優れた人材の育成に注力しております。その一環として、製造現場で働く社員の知識を高め、技能を磨くことを目的として、当社更北工場（長野市）に本アカデミーを新たに設立したものです。

職場における業務の実践を通じた教育（OJT）に加え、本アカデミーにおける体系的な教育を通じて、当社事業の根幹である製造現場の中核となる人材を育成することにより、製造現場を一層強化し、高い技術力を活かしたものづくりに引き続き取り組んでまいります。



技能実習



グループワーク

会社の概要

Corporate Data

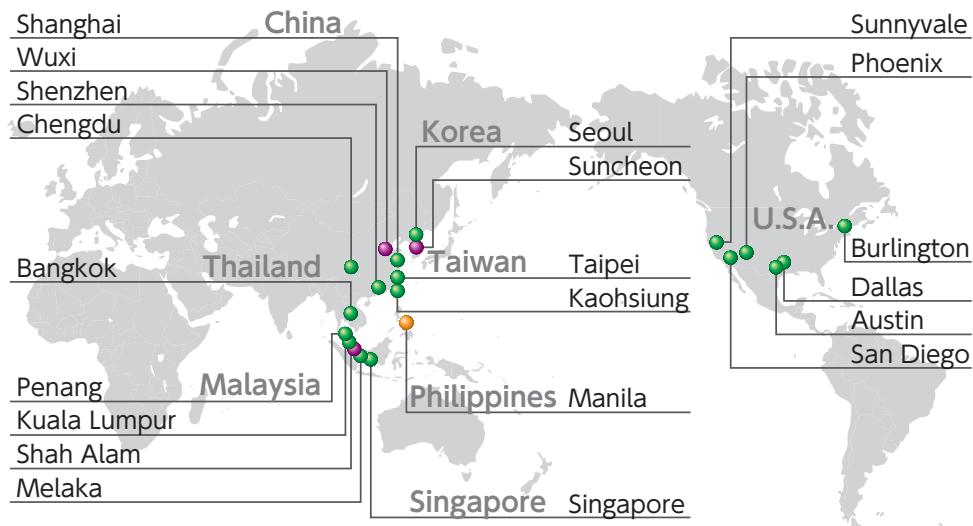
(2021年3月31日現在)

取締役

(2021年6月25日現在)

- 商号 新光電気工業株式会社
- 設立年月日 1946年9月12日
- 本社 長野県長野市小島田町80番地
電話 (026) 283-1000 [代表]
- 主な事業内容 プラスチック・ラミネート・パッケージ、
リードフレーム、ガラス端子、ヒートスプレッダー、
セラミック静電チャックなどの製造・販売、
ICアSEMBリ
- 従業員数 4,265名 (連結5,060名)
- 工場等 更北、若穂、高丘、新井、京ヶ瀬、
新光開発センター、栗田総合センター
- 営業所等 東京、大阪、仙台、名古屋、大分、福岡、マニラ
- グローバルネットワーク

代表取締役会長	藤田正美
代表取締役社長	倉嶋進
代表取締役専務執行役員	牧野恭久
取締役常務執行役員	小澤隆史
社外取締役	新美潤
取締役常勤監査等委員	伊藤明彦
社外取締役監査等委員	荒木泉子
社外取締役監査等委員	小林邦一



● 営業拠点 ● 駐在員事務所 ● 生産拠点

株式の状況

Shareholders' Data

(2021年3月31日現在)

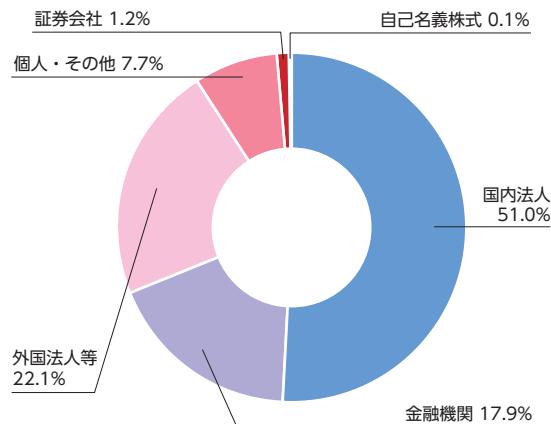
■発行可能株式総数	540,000,000株	■資本金	24,223,020,480円
■発行済株式の総数	135,171,942株	■株主数	17,958名
■大株主			

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
富士通株式会社	67,587	50.03
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	7,521	5.57
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	6,253	4.63
株式会社八十二銀行	1,836	1.36
RE FUND 116-CLIENT AC	1,821	1.35
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	1,429	1.06
新光電気工業株式会社従業員持株会	1,136	0.84
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	1,125	0.83
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	1,062	0.79
株式会社日本カストディ銀行 (信託口5)	1,029	0.76

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況

(2021年3月31日現在)



株主優待制度について

株主の皆様の日頃のご支援に感謝し、株主優待制度を導入しております。



※写真は全てイメージです。

株主優待制度の詳細は、
当社ウェブサイトをご覧ください。



CLICK!

新光電気工業 株主優待 検索

株主優待制度の概要

対象となる株主様 (※)		優待内容
保有株式数	保有期間	
300株以上1,000株未満	継続1年以上	3,000円相当のオリジナルカタログギフト
1,000株以上		6,000円相当のオリジナルカタログギフト

※当社株式の保有期間が「継続1年以上」であるとともに、毎年3月31日を基準日として上記株式数を保有する株主の皆様が対象となります。また、「継続1年以上」とは、3月31日および9月30日現在の当社株主名簿に、同一株主番号で、基準日を含めて3回以上連続して記載されていることをいいます。

「オリジナルカタログギフト」について

・当社工場が所在する長野県・新潟県の特産品または社会貢献活動への寄付を、当社オリジナルカタログギフトにしてご提供いたします。その中からお好きなものをお選びいただけます。

▶ 2021年3月期の株主優待につきましては、2021年6月上旬にご案内書類をお送りしております。

株式事務のご案内

■株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

(連絡先) 三菱UFJ信託銀行株式会社
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)

(郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

■事業年度

4月1日から翌年3月31日まで

■基準日

定時株主総会関係
配当金受領株主確定日

3月31日
3月31日および中間配当金の支払いを行う
ときは9月30日

■公告方法

電子公告
当社は、公告を下記ウェブサイトに掲載して
おります。

<https://www.shinko.co.jp/ir/kk/>

ただし、事故その他やむを得ない事由によっ
て電子公告による公告をすることができない
場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他の各種
お手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関（証券
会社等）にお問い合わせください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、
三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記の連
絡先にお問い合わせください。三菱UFJ信託銀行全国各支店におい
てもお取り扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払
いいたします。



新光電気工業株式会社

〒381-2287 長野県長野市小島田町 80 番地
電話(026)283-1000 (代表) FAX(026)284-8861
<https://www.shinko.co.jp>



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



地球環境に配慮した植物油
インキを使用しています。